

「足関節骨折術後患者における足関節後方軟部組織の輝度と足関節可動域との関係」

当院では以下の臨床研究を行なっております。

【研究課題】

足関節骨折術後患者における足関節後方軟部組織の輝度と足関節可動域との関係

【研究の背景と目的】

足関節骨折術後は、長期間経過しても足首の可動範囲が低下しています。可動範囲を低下させる原因として、足首の後方組織の質が悪くなることが考えられますが、それらの関係は詳しくは分かっておりません。

本研究の目的は、足首の後方組織の輝度と足関節可動域との関係を明らかにし、リハビリテーションに役立てることです。

【研究の期間】

2022 年 7 月 1 日～2028 年 7 月 1 日

【研究対象】

- ・当院に外来通院可能であり、足関節骨折の診断で観血的整復内固定術を受けられた方
- ・全荷重が許可された術後 3 ヶ月と 5 ヶ月の方

【研究の方法】

当院のリハビリテーションでは、術後 3 ヶ月、5 ヶ月に機能測定を行っています。本研究では、その測定結果を部分的に 2 次利用し、研究を行います。

【利用する情報】

- ・基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、利き脚）
- ・医学的情報（診断名、既往歴、手術記録、治療経過）
- ・超音波画像
- ・足関節可動域
- ・足関節筋力
- ・疼痛

【予想される利益・不利益】

利益：足関節背屈制限に対する介入ターゲットとして、組織の輝度を新たな評価・治療介入プログラムに活かすことができます。

不利益：筋力測定にともなう筋肉痛が生じる可能性があります。筋力測定では、プレテストを行い徐々に力を入れることでリスクを予防します。

【個人情報の取り扱いについて】

本研究の成果を、学術目的のため学会や論文で公表する際には、個人情報を厳重に守り、個人が特定されない形で使用します。

【研究協力の自由について】

研究への協力は自由意志であり、拒否された場合でも不利益はありません。協力を希望されない場合は、お手数をおかけしますが、ご連絡をお願い致します。

同意の撤回期限は承認を受けた日～2028年12月31日までとします。

【利益相反について】

本研究に開示すべき利益相反はありません。

【研究責任者連絡先】

総合病院土浦協同病院

リハビリテーション部 宮阪隼人

電話 029-830-3711 (代表)